

様式1-3(統一栽培暦様式)

もっと安心農産物 ダイコン(春どり) 栽培暦(令和5年度)

JAちばみどり 海上野菜組合産直部

1. 土づくり

完熟堆肥2トン/10aを施用するか、エン麦・ギニアグラス・ハブソウを輪作体系として作付けする

2. 施肥 ☆施肥診断にもとづく施肥量の遵守 化学肥料窒素成分使用量7.5kg/10a以下
基肥は①～③のいずれかを選択する。

	肥料名	施肥量
基肥	①エコレット866(8-6-6 有機態窒素 4.1)	180kg/10a以下
	②マイルドユーキ030(10-13-10 有機態窒素5.3)	140kg/10a以下
	③有機アグレット088(10-8-8 有機態窒素5)	140kg/10a以下
	苦土重焼燐(0-35-0)	40kg/10a
	硫マグ	40kg/10a

3. 防除 化学合成農薬 4成分回数まで

(Zボルドー・スピノエース顆粒水和剤・エスマルクDFは化学合成農薬に含めない)

月	管理作業	病害虫の発生推移	薬剤名	希釈 倍数・処理量	回数	対象病害虫	備考 (耕種的防除の実施)
10月 月上旬		(キスジノハミムシ) (白さび病) (コナガ・ハモグリバエ類)	①ネマトリンE-ス 粒剤	は種前 15~25kg/10a	1回	ネグサレ センチュウ	
10月 月下旬	は種		②フォース粒剤	は種時 6~9kg/10a	1回	キスジノ ハミムシ	
11月 月上旬							
中旬	間引き						アブラムシ・キスジノミ ハミムシ防除の為、圃場 周辺の除草をする
下旬							
12月 月上旬			Zボルドー	500倍	—	黒斑細菌病 白さび病	
中旬			③カスミン ボルドー	1000倍 (収穫14日前)	3回	軟腐病 黒斑細菌病 ワッカ症	コナガの発生が多い場 合はスピノエース顆粒 水和剤(3回) 2500~5000倍 (収穫7日前) エスマルクDF
下旬			④アフーム乳剤	1000~ 2000倍 (収穫7日前)	3回	コナガ アオムシ	1000倍発生初期→ (但し、収穫前日まで) を散布する
			⑤ハチハチ 乳剤	2000倍 (収穫30日前)	1回	キスジノハミムシ アブラムシ類 ハイマダラノメイガ ハモグリバエ	
			⑥モスピラン 顆粒水溶剤	2000倍 (収穫14日前) 2000~ 4000倍 (収穫14日前)	1回	コナガ アブラムシ類	⑦又はグレーシア乳剤 2000~3000倍 (収穫7日前まで2回 以内)
3月 月上旬	収穫	⑦フェニックス 顆粒水和剤	2000~ 4000倍 (収穫7日前)	2回	ハイマダラノメイガ コナガ		
中旬							
下旬							

☆みんなで守ろう生産基準